



平成23年11月22日（火）
第31号
 鹿児島県総合教育センター
 〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862
 TEL: 099-294-2311 FAX: 099-294-2309

平成23年度後期分「指導資料」(15本)を発行しました。

平成23年度後期発行の「指導資料」一覧

教科等	標 題	対象校種				
		幼	小	中	高	特
国 語	「基礎・基本」定着度調査の結果を踏まえた小学校国語科の学習指導法の改善		○			○
社 会	「基礎・基本」定着度調査を活用した社会科の授業改善についての具体的提案		○	○		
算 数	算数的活動を一層充実させる算数科の学習指導の在り方について		○			○
数 学	事象を数理的に考察し表現する能力を高める指導の在り方 －図形の証明指導における「数学カード」活用を中心とした指導を通して－				○	○
算数・数学	算数・数学科における「学び直し」の実践について					○
理科（物理）	探究活動を充実させる授業展開の工夫 －電池の起電力と内部抵抗の測定を通して－					○
理科（生物）	淡水産巻貝及び植物の精子の観察方法とポイント				○	○
図画工作・美術	子ども一人一人の資質や能力をはぐくむ評価の在り方		○	○		○
外 国 語	4技能の統合を図る「読むこと」の指導					○
情報教育	学びを広げるテレビ会議システムの活用 －テレビ会議システム「F@ceネット（つらネット）」の活用を通して－		○	○	○	○
情報教育	体系的な情報教育の推進－児童生徒に身に付けさせたい情報活用能力－		○	○	○	○
特別支援教育	知的障害のある児童生徒が主体的に活動する授業の工夫 －みんなが参加できる授業を目指して－		○	○		○
特別支援教育	言葉を育む指導・支援の在り方	○	○			○
生徒指導	「学級の荒れ」を防ぐための学級集団づくり		○	○	○	
教育相談	児童生徒の心情を大切にしたい呼出し面接の進め方		○	○	○	○

Webページから検索

総合教育センターWebトップページ
 ↓
 「調査研究」の「研究成果の提供」
 から「指導資料」の文字をクリック
 ↓
 「平成23年度発行分」をクリック

過去の「指導資料」の検索

発行年度・教科等どちらからも検索できます。

平成13年度以降の「指導資料」が表示されます。



プリントアウトによる活用



平成23年度調査研究発表会の御案内

全体研究主題「生きる力を豊かに育てる学校教育の創造」



日時 **平成24年1月27日（金）**
9:20～16:30
会場 県総合教育センター



全体会 調査研究の概要説明
プロジェクト研究の発表
研究発表【情報教育研修課】 【特別支援教育研修課】
教職員研修に関する調査結果報告

研究発表に対する、大学の先生からのコメントもあります。

8つの分科会では、ワークショップ型の研究協議を行います。

分科会 「国語科」, 「社会・地歴・公民科」, 「算数・数学科」, 「理科」,
「外国語活動, 外国語科」, 「情報教育」, 「特別支援教育」, 「教育相談」

詳細は各学校に発送しました「案内文書」もしくは「総合教育センターWebサイト」を御覧ください。

問合せ先 企画課 TEL 099-294-2312
E-mail kikaku@edu.pref.kagoshima.jp

長期研修者「研究中間発表会」を行いました。

—平成23年9月29日（木）—

これまでの研究経過の発表や今後の研究の方向等についての協議が行われました。この発表会を生かして、長期研修者は、課題解決に向けて更に研究の深化・充実を図っていきます。

《研究成果の発表》

長期研修者研究発表会
平成24年2月24日（金）



地域が育む 「かごしまの教育」 県民週間

11/1(火)～11/7(月)



「施設公開」に、地元子どもたちが訪れました。

センター案内④

教科教育 研修課

■主な業務は何ですか。

各教科等の指導法の研修等に関わる業務を行っています。教科の他に、人権教育や複式教育等にも携わっています。

■具体的な業務にはどのようなものがありますか。

主なものを三つ紹介します。

まず、「調査研究」です。平成23年度から、課の研究主題「思考力・判断力・表現力を育成する指導と評価に関する研究」を設定しました。教育センターにおける調査研究の充実・深化を図るために、研究協力員制度を設け、検証授業を通じた実践的な研究を行っています。

次に、「短期研修講座」です。教職員のニーズに応える専門的な内容の講座を開講しています。特に移動講座では、地域の教

育的課題等を踏まえ、内容の充実を図っています。講座数の拡充に努めるとともに、講座内容については、新学習指導要領等を踏まえた実践的な講座になるよう努めています。

平成24年度は「基礎・基本」定着度調査を指導法改善に生かす講座や、高校対象の移動講座をそれぞれ5教科で開設する予定です。

最後に、「長期研修」です。研修者11人が取り組む研究について、側面からサポートを行っています。

■教職員へのメッセージをお願いします。

未来を担う子どもたちのために教師は授業力の向上を図らなければなりません。教育センターを積極的に活用していただきたいと思ひます。

